

「地方創生に資する金融機関等の“特徴的な取組事例”」で 大臣表彰 33 選に選ばれました。

枚方信用金庫（理事長 吉野敬昌）は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が公表する『平成 30 年度 地方創生に資する金融機関等の“特徴的な取組事例”』に選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受けることとなりました。なお、当金庫が本表彰を受けるのは、2016 年度以来 2 回目です。

1. 本表彰の概要

地方創生の取組みについては、金融機関等の幅広い情報・ネットワークの活用による貢献が期待されており、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部においては、各地域での取組みの参考とするため、2016 年より金融機関等が地方創生に関与した「特徴的な取組事例」を選定し、公表しています。

この度、全国の金融機関等から寄せられた取組事例の中から、当金庫の取組みが、今年度の「特徴的な取組事例 33 選」に選定されました。

2. 当金庫の取組み

北河内 7 市では少子高齢化と人口減少が大きな問題となっていますが、当金庫は、高齢者の生活の安心と子育て世代の流入を促進することで、持続的な地域の活性化を支援するため、「近居・住替え促進事業」（愛称：巡リズム®）を推進しています。

「巡リズム®」は、2016 年度「金融機関等の“特徴的な取組事例 34 選”」に選定され、担当大臣から表彰されました。

今回の取組みは、当金庫のビジネスモデルである「巡リズム®」に関連する地方創生の取組みとして、旧岡本町研修所を保育施設「めぐみ会 常称寺枚方駅前保育園」に実質無償で賃貸することで、子育て世代の支援となり、枚方市の待機児童解消にも資するものです。

旧岡本町研修所を保育施設として賃貸

- (1) 名称 めぐみ会「常称寺枚方駅前保育園」
- (2) 所在地 枚方市駅直結ビル（ビオルネ北館 1 階）
- (3) 定員 19 人（1 歳児 9 人、2 歳児 10 人）

